

# ホームページの魅力

私に図書館へ行くきっかけをくれたのは、本学の図書館のホームページでした。もともとあまり本と関わっておらず、図書館へ足を運ぶこともありませんでした。しかし、司書課程を受講し、図書館について興味を持つようになり、まず図書館のホームページを見ることに決めました。

皆さんは本学の図書館のホームページをご覧になったことがありますか。私が初めてホームページを拝見したとき、「図書館のホームページにはこんなにクリックするところがあるものだろうか」とびっくりしたことを覚えています。それと同時に、他大学の図書館のホームページは、どうなっているのかということも気になりました。私は実際にいくつかの他大学の図書館と本学の図書館のホームページとを比較してみました。他大学の図書館のホームページは、概要、施設案内、利用案内などが中心に載っているだけで非常にシンプルだという印象を受けました。

本学の図書館のホームページは、概要や施設案内はもちろんのこと、本学が所蔵しているたくさんの「貴重書」や「ピックアップ・コーナー」の紹介など、京都外大独自のものもたくさん掲載されています。そして画面いっぱい色と動きが加わっており、クリックするところもたくさんあります。私はいつもどこを見ようかと迷いながら、マウスを動かしてはクリック、マウスを動かしてはクリックを繰り返しています。最近では時間を見つけては、「今日の貴重書」を見たり、「データベース検索」で本の検索をします。旅行へ行く前にも「全国ふるさと情報」を見て、旅行先の情報をチェックしたりもしています。また卒業論文を書くときにも、役に立ちました。「卒論サポート・サービス」を見て、論文や資料の検索をしました。そして世界へと視野を広げることもできます。本学の図書館のホームページは、色んなところをクリックすることができると同時に、たくさんの情報を得ることもできるのです。それは決して国内のことだけにとどまらず、海外へも目を向けることができるということにもなるでしょう。外国語の新聞や雑誌、実際の海外の様子も調べることができます。私は本学の図書館のホームページと出会って、たくさんの情報を得ています。それだけでなく、情報を得るための手助けもホームページにしてもらっています。自分自身、視野を広げることもできるし、ホームページが私と世界への架け橋になっていると思います。

まだホームページを見たことがない人は、一度本学の図書館のホームページを開き、色々なところをクリックしてみてください。もうすでにホームページをご覧になったことがある人も、もっともたくさん外大独自のホームページの利用法やホームページから情報を得てみてください。そして自分自身のホームページの活用方法を見つけ、京都から日本全国へ、また世界へと視野をどんどん広げていってみたいかがでしょうか。

2005年度英米語学科卒業生 松下 加奈